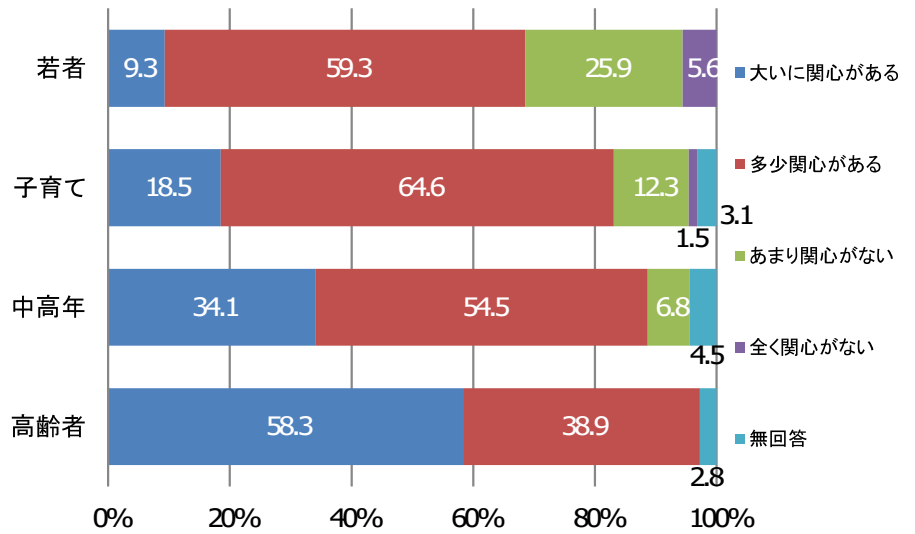
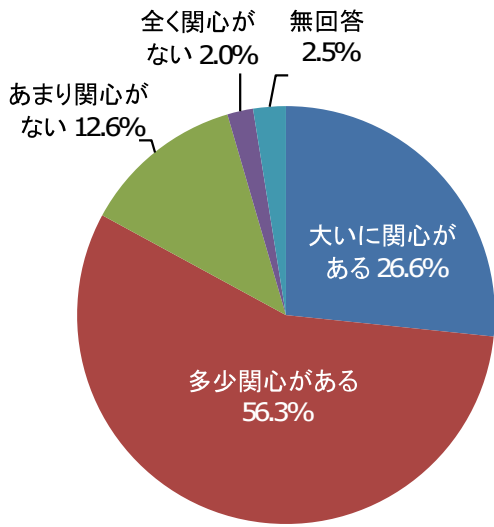


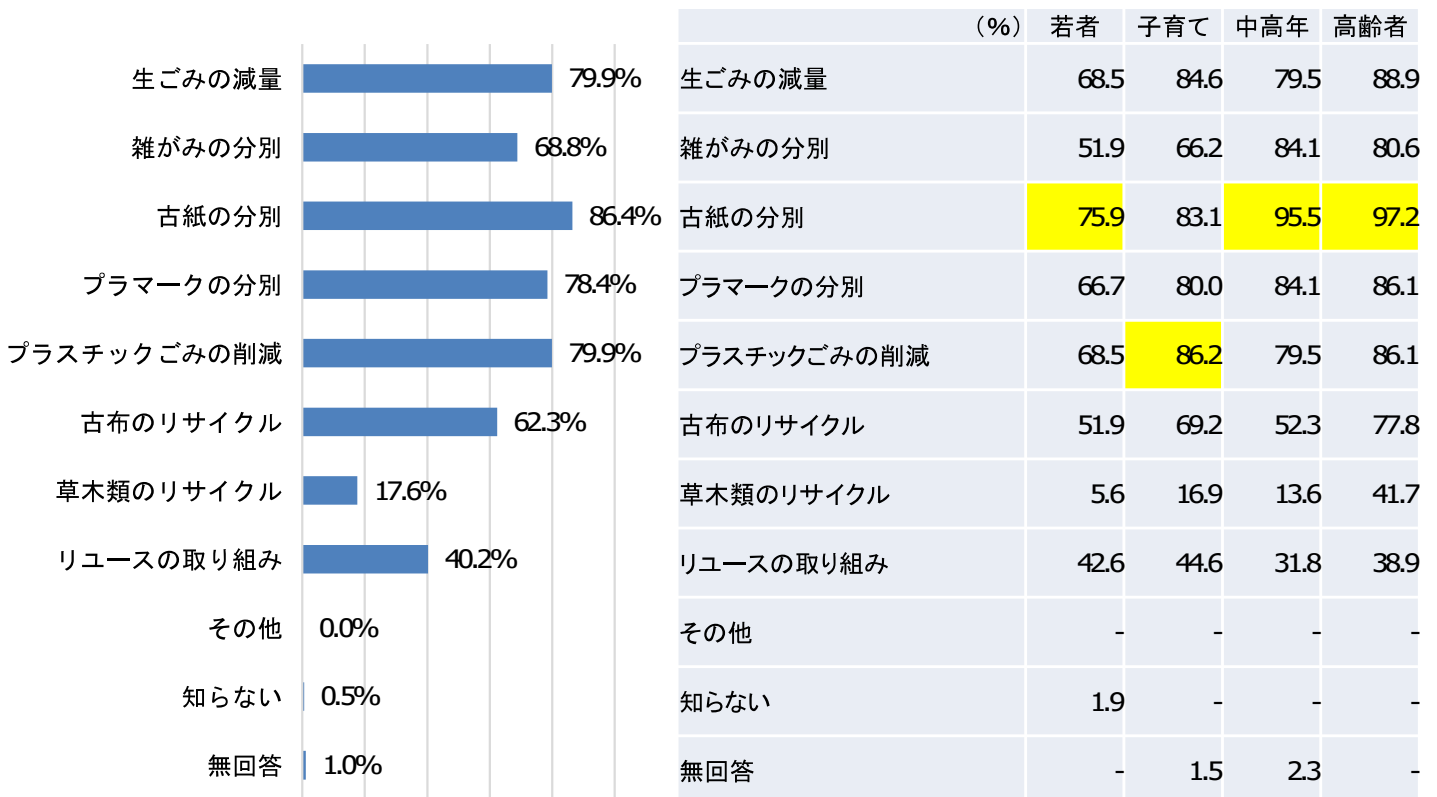
# <家庭ごみ減量・資源化の取り組み状況について>

## 問1 家庭ごみの減量と資源化推進の取り組みへの関心 (n=199)



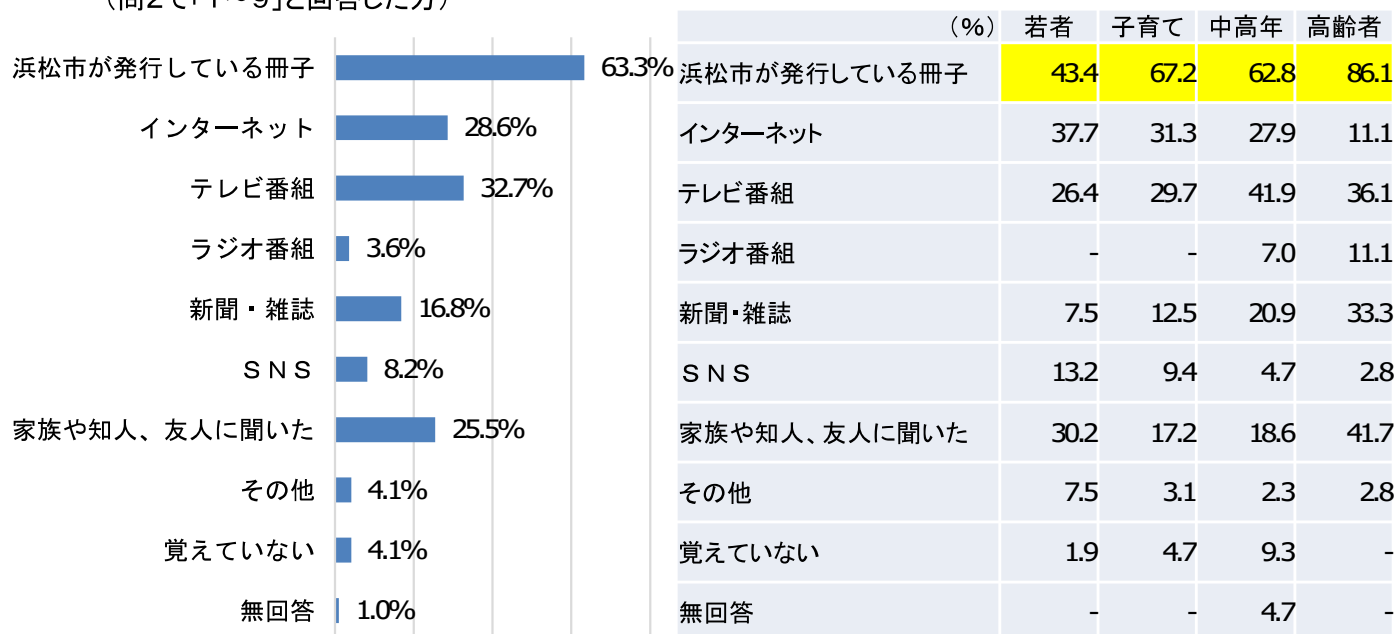
- 家庭ごみの減量と資源化推進の取り組みへの関心については、『関心がある』(「大いに関心がある」と「多少関心がある」の合計)が約8割となっています。
- 世代別にみると、世代が高くなるにつれて『関心がある』の回答割合が高くなっています。

## 問2 家庭ごみの減量・資源化の方法で知っているもの (n=199 複数回答)



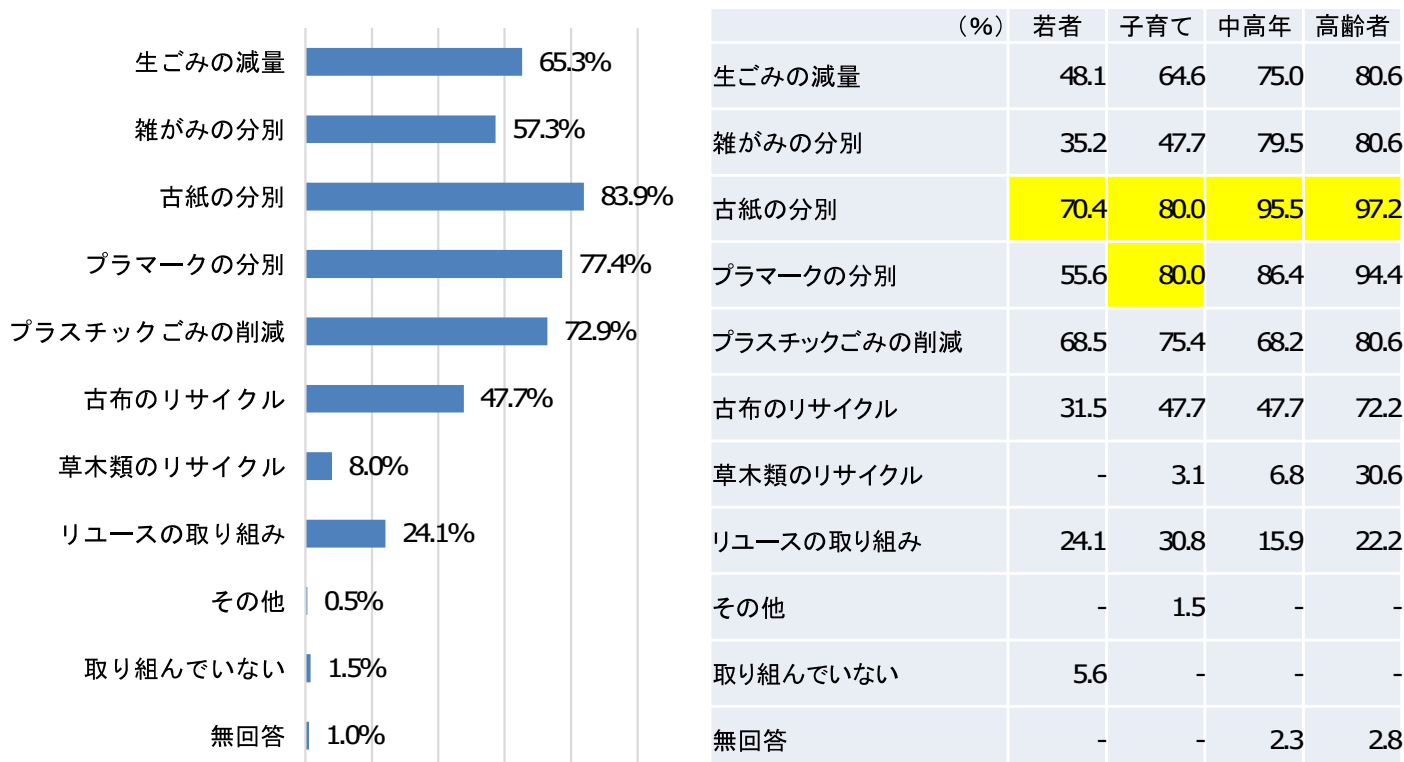
- 家庭ごみの減量・資源化の方法で知っているものについては、「古紙の分別」が約9割と最も多い回答となっています。
- 世代別にみると、若者・中高年・高齢者では「古紙の分別」が、子育てでは「プラスチックごみの削減」が最も多い回答となっています。

■ 問3 家庭ごみの減量・資源化の方法をどのように知ったか (n=196 複数回答)  
(問2で「1~9」と回答した方)



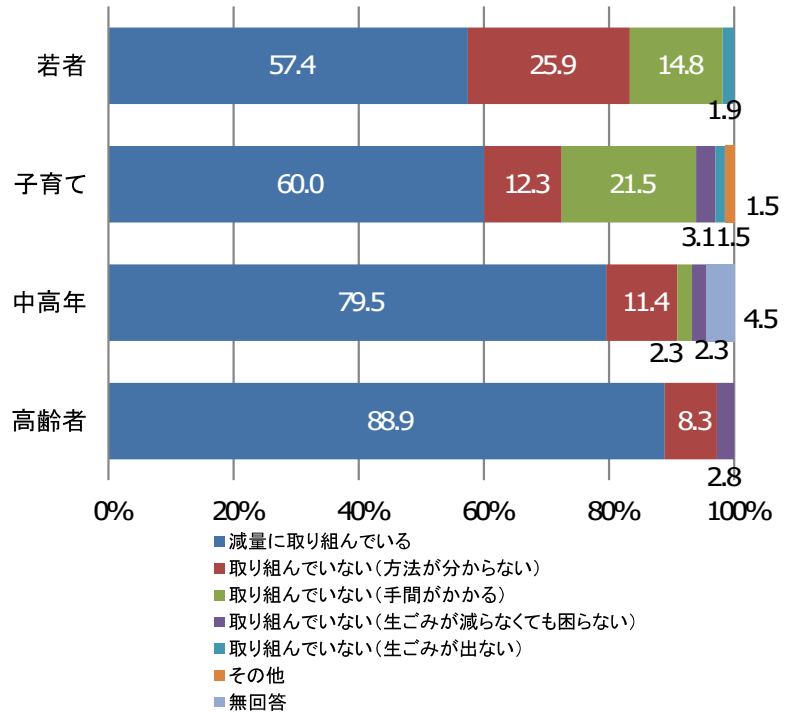
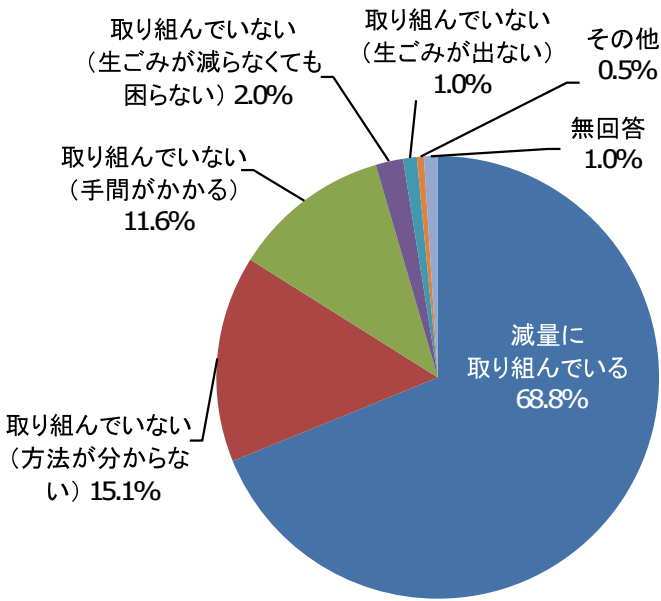
- 家庭ごみの減量・資源化の方法をどのように知ったかについては、「浜松市が発行している冊子」が約6割と最も多い回答となっています。
- 世代別にみても、全ての世代で「浜松市が発行している冊子」が最も多い回答となっています。

■ 問4 取り組んでいるごみの減量・資源化の方法 (n=199 複数回答)



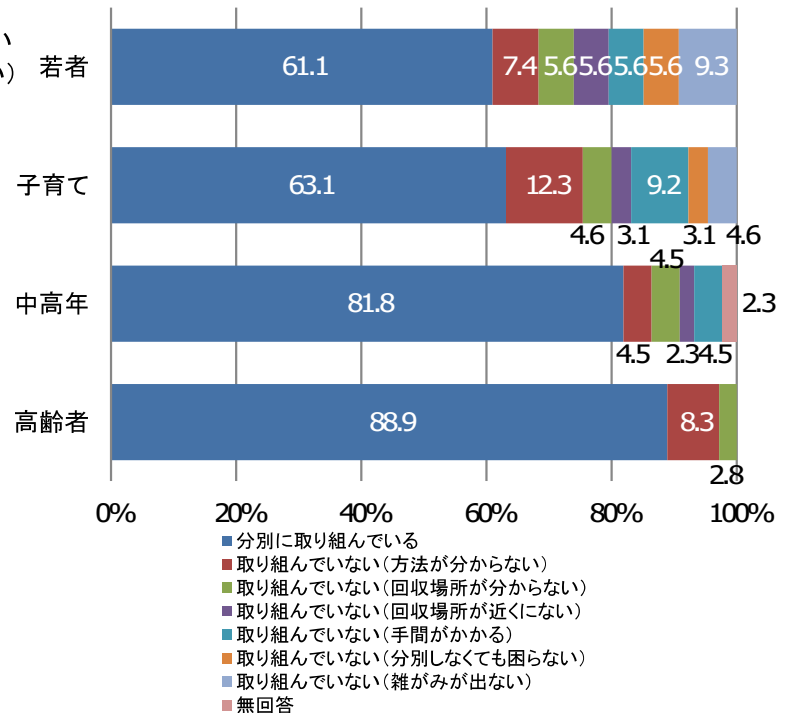
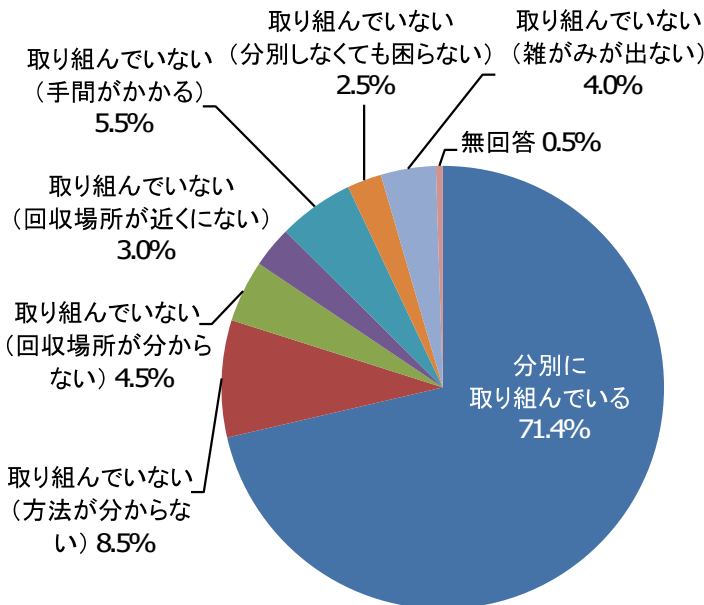
- 取り組んでいるごみの減量・資源化の方法については、「古紙の分別」が約8割と最も多い回答となっています。
- 世代別にみても、全ての世代で「古紙の分別」が最も多い回答となっています(子育ては「プラマークの分別」も同率)。

## 問5 生ごみの減量への取り組み (n=199)



- 生ごみの減量への取り組みについては、「減量に取り組んでいる」が約7割と最も多い回答となっています。
- 世代別にみても、全ての世代で「減量に取り組んでいる」が最も多く、世代が高くなるにつれて回答割合が高くなっています。

## 問6 雑がみの分別・リサイクルへの取り組み (n=199)



- 雑がみの分別・リサイクルへの取り組みについては、「分別に取り組んでいる」が約7割となっています。
- 世代別にみても、全ての世代で「分別に取り組んでいる」が最も多く、世代が高くなるにつれて回答割合が高くなっています。

## 問7 プラマークをもえるごみに出す理由 (n=199 複数回答)

	(%)	若者	子育て	中高年	高齢者
すべて分別しているため、もえるごみには出さない	22.6%	14.8	18.5	31.8	30.6
プラマークとは何か知らないから	2.0%	3.7	-	2.3	2.8
汚れがひどいとき	69.3%	74.1	73.8	59.1	66.7
紙ラベルやシールがついているとき	26.6%	29.6	30.8	18.2	25.0
手間がかかると感じたとき	19.6%	27.8	27.7	6.8	8.3
分別しなくても困らないから	3.0%	3.7	4.6	2.3	-
分別する必要性を感じないから	1.0%	-	3.1	-	-
その他	1.5%	1.9	-	4.5	-
無回答	0.5%	-	-	2.3	-

- プラマークをもえるごみに出す理由については、「汚れがひどいとき」が約7割と最も多い回答となっており、「すべて分別しているため、もえるごみには出さない」は約2割となっています。
- 世代別にみても、全ての世代で「汚れがひどいとき」が最も多い回答となっています。